

江津市桜江地区の令和5年度活動報告を行いました！



さくらえ地区小さな拠点推進協議会が、「さくらえ通信No.5」を桜江地区内5地区(長谷・市山・川戸・谷住郷・川越)に全戸配布しました。

「さくらえ通信」は、協議会の活動を住民の皆さんに知っていただくことを目的に、定期的に発行しているもので、No.5では令和5年度下期に行った主な活動について、報告しています。

今後も協議会の活動について、定期的に発信していきたいと考えています。



P2



P3

令和6年3月発行 「さくらえ通信No.5」
(左：表面・右：裏面)

小さな
拠点づくり

No.5
2024.3

さくらえ通信

発行：さくらえ地区小さな拠点推進協議会
問合せ：江津市地域振興課地域振興係（Tel0855-52-7926）

Pick Up!!

「えーひだカンパニー(株)」を視察しました



高齢者生活利便性向上事業の活動として、「えーひだカンパニー(株)」(安来市広瀬町梶福留)に先進地視察を行いました。

えーひだカンパニーが拠点を置く比田地区は、過疎化の進行を背景に、このままでは地区の存続ができないのではないかとの危機感から、平成27年『いきいき比田の里活性化プロジェクト』がスタートし、その2年後、持続可能な活動とするために同社が誕生しました。

今回の視察研修は、比田地区での先進的な取組を参考にすることを目的に、令和5年11月15日、桜江地区民生児童委員協議会の皆さんを中心としたメンバーで実施しました。

視察では、比田地区の見守り移動販売事業を取り組むことになった経緯や取組の状況、また地域の様子や民生委員、行政関係者の関わり方などについて説明を受けました。

12月6日には、参加者が視察の振り返りを行い、「生活利便性向上事業」の取組を今後どのように進めていくかなどを意見交換しました。

えーひだカンパニー(株)が運営する“えーひだ市場”の様子



小さな拠点づくりモデル事業での
取り組み（令和5年10月～令和6年2月）

地域防災体制構築事業

現在、桜江の各地区でワークショップなどを開催して、地区防災計画の素案を作成しています。

計画の素案は、専門業者により校正されて、今年度中には各地区の計画が出来上がる予定です。

また、防災士や防災リーダーの養成研修に、これまで19名のみなさんに参加いただき、あと1年で目標としていた20名を達成する見込みです。防災計画の整備と防災士・防災リーダーの養成により体制が強化されることで、今後の地域防災力の向上が期待されます。



若者定住促進事業



昨年引き続き、今年も若者会による桜ライトアップが各地区で実施されます。今年度のライトアップは3月23日を予定していますが、詳しいイベント情報などは各地区の地域コミュニティ交流センターにお問い合わせください。

また、若者会では3Colorsの活用プロジェクトとして、今春には学習塾の開設を予定しています。さらに、喫茶室（旧フレンド）を住民の皆さんと簡易改修し、活動拠点「さくらえフレンドショップ」として整備することなどを計画しています。

高齢者の生活利便性向上事業

川越地区の皆さんを対象にした買い物バスツアーを、10月12日に実施しました。参加された10人の皆さんは、ゆめタウン江津での買い物を楽しみました。3月6日には、川戸地区と谷住郷地区の皆さんを対象とした買い物バスツアーが行われます。この買い物バスツアーは、小さな拠点づくりの事業のため無料で行っていきますが、事業終了後の令和7年度以降の実施については皆さんの意見を聞きながら継続できるように、取り組んでいきたいと考えています。



テレビ取材を受けました
(10月12日実施の様子)



令和5年12月23日に大田市のあすてらすで開催された「地域づくりオールスター祭り2023」において、桜江地区小さな拠点づくりモデル地区推進事業の取組を発表しました。

ふるさと島根定住財団の主催で開催され、100人を超す参加者があり、分科会の中で今田三之会長がこれまでの取組について事例発表されました。

桜江地区での活動をPRするとともに、県内各地の取組を学ぶ機会となりました。

